

大学連携事業 活動報告シート

事業名	若年性認知症のある人のニーズ発見とその生活及び就労サポート事業	※〇を付けてください。 新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 既存
分野	※ 該当する分野に〇を付けてください。 ①ごみ・環境 ②安心・安全 <input checked="" type="checkbox"/> ③健康・福祉・長寿 ④子育て・教育 ⑤文化・スポーツ ⑥交流・コミュニティ ⑦都市整備	
期間	サクラ食堂 2020年11月11日(日) サクラカフェ 2021年3月26日(金) オレンジクテカフェ(オンライン版) 2021年2月9日(火)	
参加人数	サクラ食堂 15名 サクラカフェ 15名 オレンジクテカフェ 51名	
連携大学 教授・研究室 等	愛知医科大学病院 医療福祉相談部	
大学窓口	愛知医科大学病院 医療福祉相談部 主任 鈴木裕之	
市担当課	長寿課	
事業内容	<p>認知症となっても住み慣れた地域で自分らしく健やかに暮らすことができるように、医療・介護、福祉関係機関と地域の対象な主体が有機的に連携し、包括的なサービスを市民に提供すること。</p> <p>「愛知県認知症に理解の深いまちづくりモデル事業」による「若年性認知症の就労・生活支援のサポート」について他職種と効果的、効率的な連携の下に実施する若年性認知症の理解に関する普及啓発事業並びに相談及び支援のための居場所づくりに関する事業を行う。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>サクラ食堂、サクラカフェ</p> <p>「食堂」として行った居場所では、夕食の準備をして一緒に夕食を楽しんだり、「カフェ」ではクッキーをアレンジしながら立場を超えてコミュニケーションが図られた。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>オレンジクテカフェ</p> <p>コロナウイルスによる感染症を予防するため、Zoomによるオンラインカフェ「オレンジクテカフェ」を実施。第1部にセミナーとして、医師による「新型コロナウイルスから脳機能を守る」、また若年性認知症コーディネーターによる「若年性認知症とともに生きる人の理解とサポート」の講演を行い、第2部で参加者同士の交流を行った。</p>	



サクラ食堂の様子